



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 東燃ゼネラル石油株式会社

コード番号 5012 URL <http://www.tonengeneral.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武藤 潤

問合せ先責任者 (役職名) EMGマーケティング合同会社 広報渉外 (氏名) 甲斐 航介

TEL 03-6713-4400

四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日

配当支払開始予定日

平成26年9月12日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	1,692,402	8.7	△16,427	—	△17,529	—	△14,933	—
25年12月期第2四半期	1,556,683	15.7	30,942	—	27,979	—	15,048	—

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 △14,642百万円 (—%) 25年12月期第2四半期 15,060百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	△40.99	—
25年12月期第2四半期	41.29	41.28

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	1,489,229	273,885	18.3
25年12月期	1,409,081	294,640	20.8

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 271,962百万円 25年12月期 293,596百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
25年12月期	—	19.00	—	19.00	円 銭	38.00
26年12月期	—	19.00	—	—	円 銭	—
26年12月期(予想)	—	—	—	19.00	円 銭	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,600,000	11.1	6,000	△88.5	4,000	△92.0	47,000	105.2	129.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 1社 (社名) 極東石油工業合同会社、除外 1社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期2Q	565,182,000 株	25年12月期	565,182,000 株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	200,838,122 株	25年12月期	200,813,664 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期2Q	364,354,217 株	25年12月期2Q	364,488,232 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

当四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外ですが、当四半期決算短信の開示時点において、あらた監査法人による、四半期報告書の「経理の状況」に掲げられている四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。同監査法人は、平成26年8月14日付で、「四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、東燃ゼネラル石油株式会社及び連結子会社の平成26年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった」旨の結論を表明しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本決算短信に記載されている業績予想は、日本及び世界経済の動向、原油及び製品価格、円ドルの為替レート、需給の変動に大きく左右される業界の競争状況などにより影響を受けます。これらの影響により、実際の業績は上記の見通しとは大きく異なる可能性があることにご留意下さい。
 なお、上記業績予想に関する事項は、〔添付資料〕P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

(参考) 個別業績の概要

1. 平成26年12月期第2四半期の個別業績 (平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 個別経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	1,484,291	△0.1	△21,575	-	△21,641	-	△13,405	-
25年12月期第2四半期	1,485,123	9.8	29,769	-	28,721	-	20,269	-

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	△36.79	-
25年12月期第2四半期	55.61	55.61

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	1,402,292	253,454	18.1
25年12月期	1,413,287	273,676	19.4

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 253,307百万円 25年12月期 273,604百万円

2. 平成26年12月期の個別業績予想 (平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000,000	△1.1	△3,000	△107.3	68,000	69.2	120,000	358.0	329.35

(注) 当四半期における業績予想の修正有無： 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 事業等のリスク	4
(3) 会社の対処すべき課題	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) セグメント情報等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、主にMOCマーケティング合同会社（平成26年8月1日付で株式会社から合同会社へ組織変更）が期中に新たに連結子会社に加わったことや、製品価格の上昇により、前年同期比で1,357億円増加して1兆6,924億円となりました。連結営業損益は、MOCマーケティング合同会社の連結子会社化による増益要因もありましたが、主に低調な石油製品マージンの影響に加え、前期に利益を押し上げる要因であった在庫評価益が減少し、164億円（前年同期比474億円減）の損失となりました。

また、連結経常損益は持分法による投資利益、為替差損、及び支払利息等の営業外損益をあわせて175億円（前年同期比455億円減）の損失となりました。連結四半期純損益は、特別損益及び法人税の調整等の結果、149億円（前年同期比300億円減）の損失となりました。

営業損益から、のれんの償却費を除いた各セグメントの損益は以下のとおりです。

① 石油事業

石油事業のセグメント利益は197億円（前年同期比468億円減）の損失となりました。在庫評価損30億円（前年同期比271億円減）の影響を除いた当期のセグメント利益は、新たに連結子会社となったMOCマーケティング合同会社の利益への貢献もありましたが、主に低調な石油製品マージンの影響により166億円（前年同期比197億円減）の損失となりました。

石油事業セグメント損益 前年同四半期比較 (単位：億円)

項目	平成25年 第2四半期 累計期間	平成26年 第2四半期 累計期間	増減額
セグメント利益（△損失）	272	△197	△468
在庫評価益（△損失）	241	△30	△271
在庫評価益を除くセグメント利益（△損失）	31	△166	△197

② 石油化学事業

石油化学事業のセグメント利益は118億円（前年同期比4億円減）となりました。在庫評価損5億円（前年同期では在庫評価益18億円）の影響を除いた当期のセグメント利益は、芳香族類のマージンが下落したものの、好調なオレフィン類のマージン環境に支えられたことにより123億円（前年同期では105億円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

第2四半期連結会計期間末の連結貸借対照表は、2. サマリー情報に関する注記の(1)重要な子会社の異動に記載のとおり、平成26年3月31日をみなし取得日とするMOCマーケティング合同会社（旧三井石油(株)）の株式の95.5%を取得したこと、及び同日付で極東石油工業合同会社が持分法適用関連会社から連結子会社になったことによる影響が含まれています。

第2四半期連結会計期間末の総資産は、主に売掛金及び短期貸付金が減少した一方で、それを上回る棚卸資産の増加等により、前連結会計年度末比で801億円増加し、1兆4,892億円となりました。負債は、長期借入金等が減少したものの、短期借入金及び社債が増加したこと等により、前連結会計年度末比で1,009億円増加し、1兆2,153億円となりました。純資産は、前連結会計年度末比で208億円減少し、2,739億円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比で98億円増加し、285億円となりました。各キャッシュ・フローの状況及び主要な増減要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、148億円の純支出（前年同期では68億円の純収入）となりました。これは主に、6カ月間に7カ月分の揮発油税等の支払いが行われたこと等を含む未払金の減少や、税金等調整前四半期純損失などによる資金減少要因が、運転資本の減少などによる資金増加要因を上回ったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、357億円の純支出（前年同期では37億円の純支出）となりました。これは主に、MOCマーケティング合同会社の株式を取得したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、604億円の純収入（前年同期では110億円の純収入）となりました。これは主に、営業活動により純支出となったキャッシュ・フロー、及びMOCマーケティング合同会社の株式取得のための資金調達を目的とした短期借入金等の増加によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年12月期通期の連結営業利益は、前回発表時(平成26年5月15日)より170億円減少し、60億円となる見通しです。これは、主に第2四半期の低調な石油事業実績を反映したこと、そして7月以降の石油製品輸出マージンの想定を下げた一方で石油化学品マージンの想定を上げたことによるものです。在庫評価益は前回予想と同様に本予想でもゼロと想定しています。

また、当社と当社子会社であるEMGマーケティング合同会社のそれぞれの資本構成を適正なレベルにするため、EMGマーケティング合同会社の減資と配当を本年第4四半期に実施する予定です。連結当期純利益には同社の減資に伴う税効果の影響が含まれます。

1株当たり年間38円の配当見通しについては、前回発表からの変更はありません。

平成26年12月通期連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	3,700,000	23,000	21,000	7,000	19.21
今回修正予想 (B)	3,600,000	6,000	4,000	47,000	129.00
増減額 (B-A)	△100,000	△17,000	△17,000	40,000	—
増減率 (%)	△2.7	△73.9	△81.0	571.4	—

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成26年2月、当社が三井石油株式会社（現MOCマーケティング合同会社、平成26年8月1日付で株式会社から合同会社へ組織変更）の発行済株式の95.5%を取得したことに伴い、平成26年3月31日をみなし取得日として、第1四半期連結会計期間より、MOCマーケティング合同会社と同社がその全株式を保有する東洋石油販売株式会社を連結の範囲に含めております。

また、当社の連結子会社及びMOCマーケティング合同会社が極東石油工業合同会社の持分をそれぞれ50%ずつ保有していたことにより、極東石油工業合同会社は、平成26年3月31日をみなし取得日として、第1四半期会計期間より持分法適用の範囲から除外し、連結の範囲に含めております。当該連結の範囲の変更は、当四半期連結会計期間の属する連結会計年度の連結財務諸表に重要な影響を与える見込みです。

MOCマーケティング合同会社及び極東石油工業合同会社の業績の概要は以下のとおりです。

MOCマーケティング合同会社（*）		極東石油工業合同会社	
	平成26年3月期		平成25年12月期
売上高	388,206百万円	売上高	638,566百万円
経常利益	1,025百万円	経常利益	7,027百万円
当期純利益	2,198百万円	当期純利益	4,265百万円
純資産額	7,895百万円	純資産額	31,371百万円
総資産額	85,877百万円	総資産額	249,524百万円

なお、極東石油工業合同会社は当社の特定子会社に該当します。

（*）平成26年3月31日現在の社名は、MOCマーケティング株式会社です。

(2) 事業等のリスク

前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクに関連し、平成26年7月31日に施行された経済産業省令（エネルギー供給事業者による非化石エネルギー源の利用及び化石エネルギー原料の有効な利用の促進に関する法律施行規則の一部を改正する省令）により、平成29年3月31日までに、常圧蒸留装置の処理能力に対する残油処理装置の処理能力の比率の更なる改善等の対策が必要となります。当社は、本件への対応について、常圧蒸留装置の能力削減を含めた、最も経済合理性にかなった対応策を現在検討中です。

上記の記載の他には、当第2四半期連結累計期間及び四半期報告書提出日までの期間において新たに発生した事業等のリスクはありません。

なお、文中の将来に関する事項は、四半期報告書提出日現在における判断を示したものです。

(3) 会社の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,655	28,481
受取手形及び売掛金	277,929	238,220
商品及び製品	108,039	118,668
半製品	67,358	99,339
原材料	251,701	300,106
貯蔵品	8,371	10,188
短期貸付金	15,069	64
その他	23,151	23,389
貸倒引当金	△325	△509
流動資産合計	769,953	817,950
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	30,959	34,610
土地	145,927	176,435
その他(純額)	67,096	82,104
有形固定資産合計	243,984	293,149
無形固定資産		
のれん	313,108	315,041
その他	21,537	23,625
無形固定資産合計	334,646	338,667
投資その他の資産		
投資有価証券	35,592	16,772
その他	25,044	22,848
貸倒引当金	△139	△158
投資その他の資産合計	60,496	39,462
固定資産合計	639,127	671,279
資産合計	1,409,081	1,489,229

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	321,262	302,707
揮発油税等未払税金	193,193	179,196
短期借入金	123,129	264,266
コマーシャル・ペーパー	30,000	30,000
未払法人税等	13,822	4,606
引当金	1,537	1,858
その他	88,352	88,937
流動負債合計	771,297	871,572
固定負債		
社債	40,000	75,000
長期借入金	136,197	99,747
繰延税金負債	15,663	18,637
退職給付引当金	122,238	122,224
修繕引当金	22,369	23,032
その他	6,675	5,129
固定負債合計	343,143	343,770
負債合計	1,114,440	1,215,343
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,123	35,123
資本剰余金	49,561	49,561
利益剰余金	350,736	328,880
自己株式	△142,140	△142,164
株主資本合計	293,280	271,401
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	315	560
その他の包括利益累計額合計	315	560
新株予約権	72	146
少数株主持分	971	1,776
純資産合計	294,640	273,885
負債純資産合計	1,409,081	1,489,229

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,556,683	1,692,402
売上原価	1,480,250	1,661,177
売上総利益	76,432	31,225
販売費及び一般管理費	45,490	47,652
営業利益又は営業損失(△)	30,942	△16,427
営業外収益		
受取利息	649	65
受取配当金	105	196
持分法による投資利益	2,907	407
受取補償金	-	292
その他	52	324
営業外収益合計	3,714	1,286
営業外費用		
支払利息	1,919	1,564
為替差損	4,674	456
社債発行費	46	155
その他	38	212
営業外費用合計	6,677	2,388
経常利益又は経常損失(△)	27,979	△17,529
特別利益		
固定資産売却益	271	208
段階取得に係る差益	-	431
特別利益合計	271	639
特別損失		
固定資産除売却損	527	1,604
減損損失	12	82
和解金	-	1,169
特別損失合計	539	2,856
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	27,710	△19,745
法人税等	12,572	△4,856
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	15,137	△14,889
少数株主利益	89	43
四半期純利益又は四半期純損失(△)	15,048	△14,933

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	15,137	△14,889
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△111	247
持分法適用会社に対する持分相当額	34	0
その他の包括利益合計	△76	247
四半期包括利益	15,060	△14,642
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,972	△14,687
少数株主に係る四半期包括利益	88	45

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	27,710	△19,745
減価償却費	11,118	10,827
のれん償却額	8,462	8,593
持分法による投資損益(△は益)	△2,907	△407
減損損失	12	82
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,938	△2,690
修繕引当金の増減額(△は減少)	2,534	△1,585
受取利息及び受取配当金	△754	△262
支払利息	1,919	1,564
段階取得に係る差損益(△は益)	—	△431
和解金	—	1,169
受取補償金	—	△292
固定資産除売却損益(△は益)	256	1,396
売上債権の増減額(△は増加)	34,099	66,036
たな卸資産の増減額(△は増加)	△18,025	3,030
仕入債務の増減額(△は減少)	△52,797	△21,729
未収入金の増減額(△は増加)	△399	1,069
未払金の増減額(△は減少)	△13,109	△44,571
その他	△7,449	△4,156
小計	△11,269	△2,103
利息及び配当金の受取額	1,596	1,094
利息の支払額	△1,636	△1,545
法人税等の還付額	28,628	3,954
法人税等の支払額	△10,497	△15,361
和解金の支払額	—	△1,169
補償金の受取額	—	292
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,821	△14,839
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,128	△8,579
有形固定資産の売却による収入	950	831
無形固定資産の取得による支出	△563	△2,475
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△25,503
長期貸付けによる支出	△5	△11
長期貸付金の回収による収入	47	50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,700	△35,687

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△18,337	48,105
長期借入金の返済による支出	△50,521	△45,651
長期借入れによる収入	50,000	30,000
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	27,000	—
社債の発行による収入	9,953	34,844
自己株式の取得による支出	△130	△24
自己株式の売却による収入	2	1
配当金の支払額	△6,926	△6,923
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,040	60,352
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	14,161	9,826
現金及び現金同等物の期首残高	13,369	18,655
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,530	28,481

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	石油事業	石油化学事業	合計	調整額 (注1、2)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	1,396,421	160,261	1,556,683	—	1,556,683
セグメント間の 内部売上高又は振替高	948,901	114,828	1,063,729	△1,063,729	—
計	2,345,323	275,089	2,620,412	△1,063,729	1,556,683
セグメント利益	27,172	12,231	39,404	△8,462	30,942

(注) 1 調整額△1,063,729百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

2 のれんの償却額△8,462百万円は、各報告セグメントに配分していないため、調整額の欄に記載しております。

3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	石油事業	石油化学事業	合計	調整額 (注1、2)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	1,502,775	189,626	1,692,402	—	1,692,402
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,081,353	33,631	1,114,984	△1,114,984	—
計	2,584,129	223,257	2,807,387	△1,114,984	1,692,402
セグメント利益又は損失 (△)	△19,670	11,837	△7,833	△8,593	△16,427

(注) 1 調整額△1,114,984百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

2 のれんの償却額△8,593百万円は、各報告セグメントに配分していないため、調整額の欄に記載しております。

3 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。